

HCU EAGLES NEWS

広島都市学園大学 女子バスケットボール部 R3.10 NO.2



第73回全日本大学バスケットボール選手権中国地区予選

2部全勝優勝

10月30日1・2部入れ替え戦へ

中国大学バスケットボール連盟は1部と2部に分かれ、今年度からスタートした我がHCU EAGLESは2部からのスタートであった。各部とも総当たりのリーグ戦を行い、2部の上位2チームが1部の下位2チームとの入れ替え戦を行い勝利すれば来年度から1部昇格となる。インカレ(全日本大学バスケットボール選手権大会)は1部の上位2チームが出場権を得る。

HCU EAGLESの選手達は今大会の目標を2部全勝優勝1部昇格と定め大会に臨んだ。

10月2日(土) ジップアリーナ岡山

広島都市学園大学 104	}	26-13	}	63 山口大学
		19-8		
		26-24		
		33-18		

終始1-2-2ゾーンで守る山口大学に対し、ゾーンオフenseを実戦で試す絶好の機会となった。マンツーマンを攻めるのと同じようにゾーンを攻める練習もオフenseには必要であるが、順序からするとついあと回しにしがちな練習でもある。我がHCU EAGLESも練習をしてはみたが、5対5をするにも選手7人では何とも困ってしまった。ところが9月26日には、部員の友だちや、姉妹のチームメイトの他、広島皆実高校の卒業生も練習に参加してくれて練習台になってくれた。お陰である程度の形にすることができ、この試合で発揮することとなった。助けてくれた多くの人達のお陰もあっての勝利であり、皆さんにただ感謝である。

10月3日(日) ジップアリーナ岡山

広島都市学園大学 92	}	20-16	69 安田女子大学
		26-16	
		23-14	
		23-23	

前回の中国大会でも対戦していたのだが、今回はメンバーが全然違っていた。大学の大会の恐ろしさを初めて経験した。前ははまだ入部していなかったのか、メンバー表にはなかった選手が続々と出場し、思わぬ苦戦を強いられた。個々の能力もうまさもあり、油断するとすぐに得点を許してしまった。終始集中力が求められる試合であったが、科野のジャンプシュートを始め、全員で攻めることで少しずつ得点を引き離すことができた。

10月9日(土) 水島緑地福田運動公園

広島都市学園大学 67	}	20-16	58 岡山大学
		21-18	
		15-18	
		11- 6	

岡山大学は、前の週にうちの試合の直前に同じコートで試合していたため、しっかりと観察することができた。オフェンス・ディフェンス共によく練習しているチームだと感じた。しかも練習したであろうことがしっかりコートで表現できていた。楽には勝たせてもらえない相手だと感じた。この一週間でしっかりその対策をして試合に臨んだ。鵜池の1対1や里の3ポイントで少しずつペースを掴んでいくかに見えたが、4Qまで気を抜けない展開となった。前の週とはまた違ったオフェンスを用意するなど岡山大学の頭脳戦に感心した試合であった。

10月16日(土) ジップアリーナ岡山

広島都市学園大学 90	}	24-10	46 島根大学
		28- 9	
		18-13	
		20-14	

広島観音高校出身で島根大学の1年生エースをどう抑えるかが鍵となる戦いであった。関口が完璧に押さえ込み、徐々に戦意を喪失していく相手に最後まで手を緩めず戦い抜いた。鵜池のインサイドでの得点がチームに勢いをもたらした。

10月16日(土) シップアリーナ岡山

広島都市学園大学 90	【	13-16	】	49 川崎医療福祉大学
		21- 8		
		27- 7		
		29-18		

前日の試合で本学のディフェンスも良くなったかに思えたが、ボールサイドのみならずオフボールでの動きを止めない相手には、まだまだ未熟と言わざるを得ない内容であった。しかし焦ることなく自分たちの練習してきたことを表現し、キャプテン西を中心に、速攻で点差を広げることができ、徐々にこちらのペースに持ち込むことができた。

10月24日(日) オークアリーナ

広島都市学園大学 108	【	30-15	】	49 岡山理科大学
		24- 8		
		29-15		
		25-11		

練習中に科野が左親指を負傷したため、急遽瀬塚をスタートに起用しての戦いとなった。瀬塚は9月にマネージャーとして入部したが、こんな時もあるかと選手登録をして、部分的に練習にも入って準備してくれていた。また、溝口は故障からの回復の様子をうかがいながらプレー時間を少しずつ増やし、次週の入替え戦を視野に入れた試合をすることができた。里の3ポイントと西のドライブは圧巻で大量の得点を重ねた。

中国大学バスケットボール連盟2部の7チームによる総当たり戦を終え、6戦全てを危なげない試合で勝利することができた。9月に部員が一人加わり、7人の戦士達は目標に向かって突き進んだ。大会を通じて1部のチームの試合を観戦するにつけ、来年はあの1部の舞台で戦いたいという思いを強くしたに違いない。

今大会の最終戦となる入れ替え戦を10月30日(土)に控え、自分たちの力を出し切って熱い戦いをしてくれることを期待したい。

バスケットボール体験会 令和3年7月4日(日)

令和3年7月4日(日)バスケットボール体験会を開催しました。

19名の高校生と9名の保護者の方々に広島都市学園大学宇品キャンパスの体育館に足を運んでいただきました。

本学は医療従事者や保育及び教育に携わる人材を育成します。学生には一人ひとりにリーダーシップやコミュニケーション力を身に付けることが要求されます。その意味でも、参加してくれた高校生に楽しんでバスケットボールに取り組んでもらえるような声かけや気配りを実践する良い機会となりました。

個人技に関するトレーニングを行ったあとで、3チームに分かれ大学生のリーダーシップのもとで、ゲームの作戦を立て、総当たりのミニゲームを行いました。自分たちでどう戦うかを相談し、実践し、修正することで、本当のスポーツの楽しさを体感してもえたのではないのでしょうか。

大学生にとっても、参加してくれた高校生にとっても少しだけ成長するチャンスを得た楽しい時間となりました。参加していただいた皆さんに感謝！

